第6回 6月1日の講義内容

- §3-2. 調査票の作成
  - 作成のポイント
  - 作成の手順
  - 調査票の構成(1) 表紙・前文
  - 調査票の構成(2) 本体
  - 質問形式
  - 言い回し／ワーディング
  - プリテスト
  - 修正

作成のポイント

- 調査票に要求されるもの
  - 質問の解釈が容易で誤解を生まない（解釈の一意性）
  - 回答しやすさ
  - 調査対象者の自発性を助ける
  - 調査対象者との信頼関係の構築

⇒

- 具体的方策
  1. ストーリー化
     - 階層的分類 大項目ー中項目ー小項目
     - 順序パターン 導入ー中核ー補足
  2. 定型化

作成の手順

- 問題の図式化

⇓

- 調査項目の決定

⇓

- 質問の体系化（デザイン）
  - 漏斗型 funnel sequence
    絞込み：大局的内容→具体的内容
  - 逆漏斗型 inverted funnel sequence
    派生的：具体的内容→大局的内容

調査票の構成(1) 表紙・前文

- 調査目的の明記
  - 何故調査を行うのか、その結果を何に使うのか。
- 調査主体の明記
  - 責任の主体の明確化

⇓

- 調査対象者との良好な関係構築
  - 無用な疑念を抱かせない
  - 不安を払拭

調査票の構成(2) 本文(1)

- フェイスシート
  - 被調査者の属性に関する質問
  - 属性チェック
- スクリーニング質問
  - 論理的整合性を保つための質問
    （対象群の絞込み、分岐が正しく行われているか）

調査票の構成(2) 本文(2)

- 質問形式
  - A. 単一選択
    - 「もっとも当てはまるものを一つ選んでください」
    - （注）選択肢が網羅的かつ排他的になっていることを確認
  - B. 複数選択
    - 「当てはまるものをいくつでも（x個）選んでください」
      - 固定的： x個を固定
      - 範囲制限型： xを制限、「3個以下」
      - 無制限型：「いくつでも」
    - （注）集計や分析が面倒であることに注意
  - C. 評価尺度
    - 点数回答（y点満点で）、5点（7点）評点から選択など
  - D. 自由回答
    - （注）定型化しづらい

copyright (c) 2005, Y. Takeuchi

言い回し／ワーディング(1)

- ワーディング Wording
  調査主体と調査対象者を結ぶ唯一の絆
- ワーディングにおける注意事項
  - a. 曖昧性の排除 定義を明確に
    - (例)「所得」:税込み収入?、手取り収入?
    - 曖昧な質問に対する調査対象者の想定される反応
      - 対象者も曖昧のまま回答:「無知の共謀」
      - 調査主体と異なった理解で回答
      - 回答拒絶:「わからない」が頻発
    - 意図的に曖昧のままにすることも

6/1/05 7

言い回し／ワーディング(2)

- b. 個人的質問(personal question)と一般的質問(impersonal question)の混同を回避
  - 総論賛成、でも自分に関わるときには反対ということはよくある
  - 質問自体が事実判断なのか価値判断なのか、明確にしておかないと一層ややこしいことに。
- c. ステレオタイプ化した言葉、表現に注意
  - 無意識に意見を誘導してしまう可能性
  - ただ、完全に中立的であることはできない

6/1/05 8

言い回し／ワーディング(3)

- d. ダブルバーレル質問(double-barreled question)
  - 2つ以上の事柄をまとめると答えられない
    - a. 「栄養ドリンクやスポーツ飲料を人前で飲むことに抵抗がありますか?」
    - b. 「たばこは健康に悪いので、公衆の場所では禁煙にすべきだ」
  - 重文型(a)と複文型(b)
  - 許容できるダブルバーレル
    例示、修飾的性質の強いもの

6/1/05 9

言い回し／ワーディング(4)

- e. 誘導的質問、キャリーオーバーの回避
  - 立場の微妙な問題は、聞き方によって結果が変わる
  - 直前の質問の影響は無視できない
- f. 負担の軽減
  - 分量だけでなく、質問文が悪いとそれだけで負担

6/1/05 10

プリテスト と 修正

- プリテスト pre-test
  - 質問票の完成度の確認が目的
  - 協力を得やすい集団を調査
- 予備調査 pilot-survey
  - 文字通りトライアル
- プリテスト等で気づいた問題点を修正し、再度調整

6/1/05 11

まとめ

- 調査主体の言語体系と調査対象者の言語体系は同一でない
  - 同じ言葉に異なる世界を構成しやすい

⇩

- 調査対象者の調査票の解釈が調査主体の意図に近づくように質問文を作成・調整する必要

6/1/05 12

copyright (c) 2005, Y. Takeuchi